

## 第2回中央委員会 2020 春季生活闘争方針を確認

1月17日(金) 13:00~東京グランドホテル「芙蓉の間」にて、第2回中央委員会が開催されました。

古賀副中央書記長の司会のもと、議長には図書印刷労働組合の秋谷中央委員が就任し、その後、中央委員会開催にあたり、佐藤中央執行委員長よりご挨拶されました。



司会 古賀副中央書記長



議長 秋谷中央委員  
(図書印刷労組)

### 佐藤中央執行委員長ご挨拶

中央委員の皆さんには、日頃から印刷労連並びに各地方協議会の諸活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。第2回の中央委員会ではありますが、新体制になって初めての中央委員会となります。あらためて、宜しくお願いいたします。

昨年は秋以降、大型台風が複数日本に上陸し、東日本を中心に大きな被害を及ぼしました。連合・印刷労連を通じて「緊急カンパ」を実施し、構成組織より約70万円のカンパ金を集めることが出来ました。ご協力に感謝申し上げます。

また、例年実施している連合「愛のカンパ」についても現在、取り組んでおりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、昨年8月30日の第27回大会終了後、印刷労連結成30周年記念レセプションを開催し、大会構成員・OB・ご来賓を含めて約140名の方に出席いただきました。OBの方からは印刷労連結成にあたり、大変ご苦労されたお話もいただきました。こういった諸先輩方の思いをしっかりと受け止め、印刷労連の発展に向けて皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思っております。

また、昨年12月には印刷労連として推薦し2期目の当選を果たした浜野よしふみ参議院議員に対して、印刷労連の政策・制度要求書を提出し、印刷産業の抱えている課題について申し入れを行いました。その翌週には印刷産業の業界団体である、日本印刷産業連合会に対しても政策・制度内容について説明を行い、業界団体とも連携を取っていく事としました。当日は大日本印刷労組にも出席いただき、産業労使全体での連帯を深めました。

さて、本日の中央委員会は2020春闘方針をメインに審議していく委員会となります。昨年は印刷労連として、各構成組織が目指す賃金水準を定めた賃金政策を策定し、春闘方針に盛り込んで取り組みました。

多くの組織において、自組織の賃金水準を意識した要

求・交渉が行われ、結果として全体の底上げが図られております。しかしながら、賃金は単年度だけの取り組みで大きく変わるものではありません。この賃上げの流れを継続し、更なる「底上げ」「格差是正」につなげていく必要があります。

また、労働法制関係についてであります。昨年、「働き方改革」を目的として、労働基準法が改定されました。今年の4月より残業時間の上限規制が中小企業にも適用されます。印刷産業は他の産業と比べて労働時間が長い産業となっています。労働組合としてチェック機能を働かせ、36協定の適正化と遵守に努めていく必要があります。人材不足が著しい今日、優秀な人財の確保と定着を図るためには、労使が一体となって残業時間削減や休暇取得の促進に取り組んでいく必要があります。

更に、今年の4月から「同一労働・同一賃金」に向けた労働法制が改定されます。印刷労連としては、パート・アルバイト、シニア社員等の組織化には至っておりませんが、職場では重要な戦力となっており、同じ職場で働く仲間として「同一労働・同一賃金」に向けた取り組みも重要であると考えます。

印刷労連の構成組織は大手・中小と様々ある中、抱えている課題は共通している部分が多く存在しています。印刷労連としての組織力をより一層高めて、課題の解決に向けて、一つひとつ着実に取り組み、印刷産業をより魅力ある産業へとしていきたいと思っております。

最後になりますが、本日お集りの皆さんの引き続きの印刷労連に対するご協力をお願い申し上げます。中央委員会にあたっての挨拶とさせていただきます。



2020年1月17日 中央執行委員長 佐藤久恒

## 2020年 春季生活闘争方針（案）

印刷労連 2020 春季生活闘争の基本的な考え方は、昨年度に引き続き「働きの価値に見合った処遇を実現し、企業の発展と、魅力ある印刷情報メディア産業をめざそう!」をスローガンに、「経済の自律的成長」と「持続可能な社会」を実現するための印刷労連の果たすべき役割として、「賃上げ」「一時金」「労働諸条件改善」の3本柱に加えて「労働環境の整備」を含めた総合的労働条件改善への取り組みとする。それぞれの具体的要求項目や闘争の進め方など詳細は別途、本部からの通達文をご参照下さい。（最終ページに春闘方針要旨を掲載）



大窄労働条件委員長

橋本中央委員  
(フォームズ・ユニオン)

（質問）橋本中央委員（フォームズユニオン）

今回の春闘方針(案)を「賃上げ」、「一時金」、「労働諸条件改善」の3本柱に加えて「労働環境の整備」としているが、産別としてどの項目の成果を重く位置付けているのか教えていただきたい。

（答弁）大窄労働条件委員長

それぞれの構成組織にて様々な観点があり、課題も様々である。組合員がどういったことを求めているかが重要であり、それぞれの構成組織で職場の実情等を踏まえた上で、深掘りをしながら取り組みを進めていただきたい。

## 2019年度 前半期決算・会計監査報告



中村財政部長



田中会計監査（三浦印刷労組）



佐々木中央委員（凸版印刷労組）

（質問）佐々木中央委員  
(凸版印刷労組)

広報・印刷費の広告掲載料について、具体的な内容を教えていただきたい。

（答弁）穴戸中央書記長

日本生産性本部の機関紙に、印刷労連として年始のご挨拶を掲載した費用である。



穴戸中央書記長

## その他議案

- 構成組織からの会費減免申請について  
大平印刷労組から会費減免申請書が提出され、満場一致で可決された。
- 構成組織の脱退について  
アド・エモン労組および大日本法令印刷労組より脱退届が提出され、満場一致で可決された。
- 地方協議会における30周年記念特別交付金について  
結成30周年を迎え、地方協議会においても30周年の節目における組織の更なる団結と連帯を図るべく、「30周年特別交付金」を特別会計より拠出することを満場一致で確認された。



閉会挨拶 吉岡副中央執行委員長

## 第2回中央委員研修会

### 研修テーマ

### 「働き方改革関連法案と労働組合の取り組み」

今年度も連合より副事務局長の石田昭浩氏を招聘し研修会を開催しました。

働き方改革関連法が2019年4月より順次施行されています。

研修では、「働き方改革関連法の全体像」「労働基準法の改正内容」「同一労働同一賃金の法規定の内容」「高齢者が安心・安全に働き続けられる環境整備」各テーマごとの説明があり、大変分かり易く講義をいただきました。

印刷労連としても方針が確認された中、非常にタイムリーに情報を得ることができました。



連合 副事務局長 石田 昭浩氏

# 印刷労連 2020年 新春の集い

恒例となりました本部主催の「2020年新春の集い」が、中央委員会・研修会終了後に開催されました。連合の石田副事務局長、構成組織の企業代表者、日本印刷産業連合会、UNI日本加盟組織連絡協議会、政界からは小林正夫参議院議員・浜野よしふみ参議院議員など、多くの方にご来賓としてご出席いただき、本年も盛大に行われました。



司会・進行  
 穴戸中央書記長・古賀副中央書記長



主催者代表挨拶  
 佐藤中央執行委員長



連合  
 石田副事務局長



日本印刷産業連合会  
 杉村専務理事



凸版印刷株式会社  
 大久保取締役副社長



UNI 日本加盟組織連絡協議会  
 金子副議長



小林正夫参議院議員



浜野よしふみ参議院議員



乾杯の発声  
 吉岡副中央執行委員長



全印刷局労働組合中央本部



凸版印刷株式会社



共同印刷株式会社



トッパン・フォームズ株式会社



図書印刷株式会社



株式会社リーブルテック



古林紙工株式会社



株式会社トッパンブロスプリント



閉会挨拶 勝又副中央執行委員長



2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ

こくみん共済	団体生命共済
火災共済	自然災害共済
総合医療共済	せいの共済
マイカー共済	自賠責共済
交通災害共済	断セーター旅行共済

こくみん共済 (全労済)

教えて ロッキー! ろうきんってどんな時に利用するの? の巻

将来は車や家も欲しいし、子どもの教育資金も必要になるわ! 今のうちからお金のことを考えておかないとね!

20代	30代	40代	50代	60代
●マイホーム資金 例) 貯形住宅	●教育資金 例) エース預金	●セカンドライフ資金 例) 貯形年金 例) 貯形年金 例) DeCo	●子ども結婚資金 例) エース預金	●独立資産の利用 例) 貯形年金 例) DeCo
●結婚資金 例) 一般貯形	●自動車ローン	●住宅ローン	●教育ローン	●退職金の運用 例) 定期預金
●カードローン	●リフォームローン			

ろうきんなら、ライフステージに応じた商品やサービスが充実!

積立型預金や低利なローンなどで、はたらく人の生活と生涯設計(未来)を応援しているよ!

2019.08 15/14 今と将来を支える 賢い資金形成ローンのご紹介は、ろうきんで!

<https://all.rokin.or.jp/info/> 近くのろうきん

## 2020年 春季生活闘争方針（要旨）

「働きの価値に見合った処遇を実現し、企業の発展と、魅力ある印刷情報メディア産業を目指そう！」

### 【情勢認識】

- ・日本経済：各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、通商問題の動向や中国経済の先行き、英国のEU離脱等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。
- ・雇用環境：人手不足感が一層高まっている。
- ・労働環境：「働き方改革関連法」の施行に合わせ、長時間労働の是正をはじめとする「働き方」の見直しが求められている。それに加え2020年4月より「同一労働同一賃金」の施行も始まり、これらを基本的な情勢認識とする。
- ・賃金水準：産業間および企業間における格差が縮小しておらず、格差是正が必要である。

### 【連合2020春季生活闘争のポイント】

- ・キーワード：「経済の自律的成長」と「持続可能な社会」を実現・「底上げ・底支え」「格差是正」
- ・要求水準：賃上げ2%程度、定期昇給相当分（賃金カーブ維持分）を含めて4%程度
- ・中小共闘：賃金カーブ維持相当分：4,500円（連合18～45歳1年格差）+賃上げ2%：6,000円（連合の平均賃金の2%）= 10,500円
- ・労働環境：「すべての労働者の立場に立った働き方の見直し」「人材育成・教育訓練の充実」「ワークルール」「ジェンダー平等・多様性の推進」を基本に「労働環境の整備」

### 【基本的な考え方】

- ・賃上げ：①定期昇給相当分（賃金カーブ維持分）+「底上げ・底支え」「格差是正」  
②「印刷労連・個別賃金要求水準」を参考に、構成組織毎に目標水準を設定し要求
- ・一時金：「年間収入」「生活給的要素」「業績配分」のバランスを考慮
- ・労働諸条件：「すべての労働者の立場に立った働き方の見直し」「ワークルール」「ジェンダー平等・多様性の推進」を基本に「労働環境の整備」

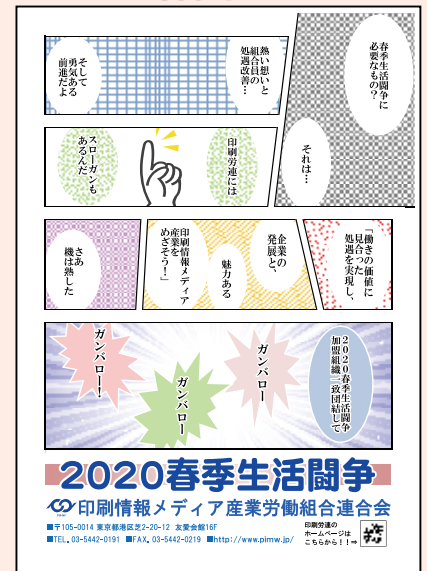
### 【要求内容】

- ・賃上げ
  - ①全体：定期昇給相当分（賃金カーブ維持分）は各構成組織において算出。算出困難な構成組織は4,500円とする  
賃上げ分（ベースアップ分）は2%程度とする
  - ②賃上げの具体的目標水準の設定：  
ミニマム基準（企業内最低賃金）、目標水準、中期目標水準を設定し、「水準」にこだわった取り組みとする
- ・初任給
  - ◎173,000円とする。なお、既にも上回っている組織は現行の初任賃金に2%分を加えて要求する
- ・一時金
  - ◎「年間収入」「生活給的要素」「業績配分」のバランスを考慮して、年間4.0ヶ月を基準とするが、「消費拡大」や「業績配分」を鑑み更なる上積みを目指す
  - ◎季別の場合⇒2.0ヶ月を基準
- ・労働諸条件
  - ◎「すべての労働者の立場に立った働き方の見直し」や「ワークルール」および「ジェンダー平等・多様性の推進」に取り組むとともに「職場環境の整備」を求めて、「印刷労連2020春季生活闘争参考資料」を参照に以下の項目から選択する
    - 1) 改正労働基準法に関する取り組み
    - 2) 同一労働同一賃金に関する取り組み
    - 3) すべての労働者の雇用の安定に向け、無期転換ルールの内容周知。
    - 4) 高齢となっても安心して安全に働き続けられる環境整備の取り組み
    - 5) 障がい者雇用に関する取り組み
    - 6) 治療と仕事の両立の推進に関する取り組み
    - 7) 改正女性活躍推進法および男女雇用機会均等法の周知徹底と点検活動
    - 8) あらゆるハラスメント対策と差別禁止の取り組み
    - 9) 育児や介護と仕事の両立に向けた環境整備
    - 10) 次世代育成支援対策推進法にもとづく取り組みの推進

### 【闘争の進め方】

- ・回答指定日（統一回答ゾーン）
  - ◎第1先行組合⇒3月9日(月)～13日(金)
  - ◎第2先行組合⇒3月16日(月)～20日(金)
  - ◎上記に間に合わない場合⇒3月23日(土)～31日(日)  
3月内決着を目指す
- ・闘争アピール⇒「春闘ポスターの作成と掲示」「闘争アピールの作成」「早期解決要請書の作成」

## 2020春闘ポスター



労使一体となった取り組みを実感し、全ての組合員の幸せのため、一枚岩となって取り組んでいきましょう!

### 編集後記

静岡県でサッカーが始まって100年の節目。全日本高校女子選手権を制した藤枝順心に続き、男子でも名門・静岡学園が高校サッカー選手権を制し、静岡県勢アベック優勝を達成。サッカー王国復活を印象づけた令和初の冬の全国大会でした。静岡県民の私としては、待ちに待った瞬間でもありました。

特に男子決勝は絶対王者の青森山田とテクニク軍団の静岡学園の一戦となり、観客数は過去最高の5万6千人を埼玉スタジアムが飲み込みました。

久しぶりの王国静岡の決勝進出となりオールファンや華麗なるプレーに魅了され、全国のファンがスタジアムに押し寄せたのだと思います。

静岡学園のモットーは『観ている人を取りこく』というサッカーで日本一を目指す。この一言に何もブレることなく生徒は取り組み、日本一を達成したことに頭が下がりました。

2020年がスタートし、早く2ヶ月が過ぎようとしています。個人的には、年初に建てた目標や取り組みを、もう一度振り返り、静岡学園サッカー部のように『皆から魅了される』印刷労連を目指していきたいですね。

教育・広報委員会  
勝又紀智